

地域がん診療連携拠点病院P D C Aサイクル

【指定要件】

自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。

①SWOT分析

		外部環境分析	
		機会(Oppportunity)	脅威(Threat)
		・がん患者の増加	・近隣病院の診療体制強化
内部環境分析	強み(Strength)	成長戦略	対抗戦略
	・地域医療連携 ・集学的医療の提供 ・チーム医療	・地域連携バスの拡大 ・緩和ケアを含めた集学的治療 ・化学療法室の効率的な運用	・全人的医療の充実 ・医療の質の向上(研修)
	弱み(Weakness)	改善戦略	回避戦略
	・広報活動(ホームページ) ・がん相談 ・緩和ケア(地域連携) ・人材育成	・ホームページの充実 ・ニーズにあった事業の実施 ・緩和ケアの地域連携の強化 ・計画的な人材育成	

②戦略マップ及びB S C

ビジョン	★患者さんに満足してもらえる安全、安心、良質な医療を提供する。 ★地域医療のさらなる連携促進を図る。						
区分	戦略マップ	基本的方向	評価指標	行動計画			
利用者の視点	【患者満足度の向上】 療養支援の推進 がん診療の充実 地域連携の推進 広報活動の充実 公開講座の開催	療養支援の推進	専門家派遣事業実施件数 患者会との連携	・ 専門家派遣事業の積極的な活用及び患者会との連携強化を図り、療養支援等を行う			
		がん診療の充実	悪性腫瘍手術件数※()内は五大がん	・ 手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療の充実及び緩和ケアの提供 ・ 各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等患者の状態に応じた適切な治療の提供 ・ がん相談の内容から患者のニーズを把握し、専門家派遣事業等の活用を図る			
			術中迅速病理診断件数				
			放射線治療件数				
			外来化学療法件数				
			緩和ケア外来患者数				
			がん相談件数				
			セカンドオピニオン件数	他院→自院 自院→他院			
		地域連携の推進	連携クリティカルパス件数(五大がん)	・ 五大がん地域連携クリティカルパスの適用拡大の推進 ・ 緩和ケアチームと連携し、在宅診療に携わる医師等と退院前カンファレンスを実施し、患者の療養場所等の意志決定の支援を行う			
			連携クリティカルパス件数(五大がん以外)				
在宅緩和ケアパス件数							
退院前カンファレンス開催回数							
広報活動の充実	がん診療に係るホームページ更新回数	・ がん診療に係るページの新規作成、見直し及び診療実績等の情報公開を積極的に行う					
公開講座の開催	公開健康講座の開催回数	・ 地域住民、患者向けの講演会の実施					
質の向上の視点	【医療の質の向上】 がんサポートの充実 SSIの推進 緩和ケア体制の充実 化学療法の充実	がんサポートの充実	がんサポート開催回数	・ がんサポートの充実を図り、患者の状態に応じた最適な医療を提供する ・ 手術部位感染サーベイランスを実施し、術後管理の強化を図る ・ がんが診断された時から緩和ケアが提供されるよう体制を整備し、医療の質の向上を図る ・ 化学療法を安全に行うための標準化を積極的に推進し、また、既存のガイドコルの見直しをし医療の質の向上を図る			
			取扱症例数				
		SSIの推進	手術部位感染サーベイランス件数				
			手術部位感染率				
		緩和ケア体制の充実	緩和ケアカンファレンス開催回数				
			緩和ケアチームによる病棟ラウンド回数				
			緩和ケアチームによる新規診療症例数				
		化学療法の充実	化学療法新規ガイドコル件数				
			化学療法ガイドコル修正件数				
		学習と成長の視点	【従事者のスキルアップ】 人材育成 研修会の開催				
専門看護師・認定看護師数							
相談員研修修了者数	(3)						
	(2)						
	(1)						
院内がん登録研修修了者数	中級						
	初級						
研修会の開催	早期診断に関する研修会回数						
	放射線治療研修回数(含副作用対応)						
	化学療法研修回数(含副作用対応)						
	緩和ケア研修会回数						
	合同カンファレンス回数						
	専門職研修(看護師対象)回数						

③P D C Aサイクル

